

# 稲作だより

第9号 穂肥編  
令和8年7月2日

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動最上地域本部 最上総合支庁農業技術普及課 ☎0233-29-1330

適期適量の穂肥とこまめな水管理で猛暑に耐える稲体を作りましょう！

## ※お天気ニュース※

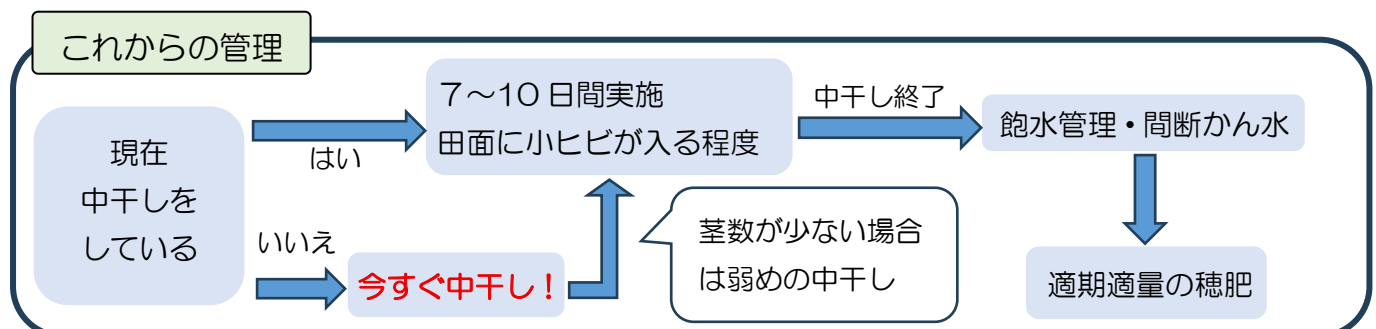
6/27～7/3 は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、平均気温は平年並みか高い見込みです。  
7/4～7/10 および 7/11～7/24 は平年と同様に曇りや雨の日が多いですが、平均気温は高い見込みです。(6/25 気象庁発表)

## ◎生育調査結果（6月30日時点）

品 種	年 次	移植日 (月日)	草 丈 (cm)	茎 数 (本/m <sup>2</sup> )	葉 数 (枚)	葉 色 (SPAD値)
はえぬき (新庄市泉田)	本 年	5/27	36.7	545	9.2	44.4
	前 年	5/26	44.3	583	9.3	45.5
	平 年	5/25	43.3	603	9.2	45.3
	平年比・差	2	85	90	0.0	-0.9
つや姫 (舟形町富田)	本 年	5/15	47.3	616	9.3	39.3
	前 年	5/16	62.9	550	9.9	41.9
	平 年	5/17	54.0	623	9.6	42.2
	平年比・差	-2	88	99	-0.3	-2.9
雪若丸 (新庄市泉田)	本 年	5/24	34.7	624	9.7	45.4
	前 年	5/28	43.9	611	9.2	44.7
	平 年	5/25	38.7	669	9.2	46.0
	平年比・差	-1	90	93	0.5	-0.6
あきたこまち (最上町向町)	本 年	5/20	47.7	591	9.9	46.6
	前 年	5/22	61.4	609	10.1	47.2
	平 年	5/23	48.3	606	9.6	46.9
	平年比・差	-3	99	98	0.3	-0.3

## ◎生育概況 ～生育量は平年並みからやや少ない～

- 普及課の調査結果では、草丈は平年並み～短く、茎数は平年並み～やや少なく、葉数は「つや姫」でやや少なく、「雪若丸」、「あきたこまち」でやや多く（やや進んでおり）、葉色は平年並み～やや淡く、特に「つや姫」で淡いです。



## ◎出穂予想と穂肥の適期 ～出穂予想は平年並み～

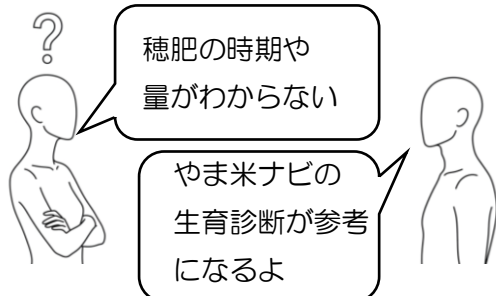
・今後の高温により出穂は早まる可能性があります。遅れずに穂肥を行いましょう。

品 種	年 次	移植日	出穂予想	穂肥適期	品 種	年 次	移植日	出穂予想	穂肥適期
はえぬぎ (新庄市泉田)	本 年	5/27	8/6		雪若丸 (新庄市泉田)	本 年	5/24	8/7	
	平 年	5/25	8/6	7/12		平 年	5/25	8/8	7/13
	平年差	2	0			平年差	-1	-1	
つや姫 (舟形町富田)	本 年	5/15	8/10		あきたこまち (最上町向町)	本 年	5/20	7/31	
	平 年	5/17	8/10	7/11		平 年	5/23	8/1	7/11
	平年差	-2	0			平年差	-3	-1	

## ◎穂肥診断 ～生育に合わせた施肥を～

品種	茎数(本/m <sup>2</sup> ) および葉色(SPAD)	生育	窒素成分量	施用時期
はえぬぎ	茎数700本以下かつ葉色40以下	適正	2.0kg/10a	出穂25日前
	茎数700本以上 <b>または</b> 葉色40以上	やや過剰	1.0～1.5kg/10a	
	茎数700本以上かつ葉色40以上	過剰	<b>穂肥なし</b>	
つや姫	茎数600本以下かつ葉色39以下	適正	1.5kg/10a	出穂30日前
	茎数600～650本 <b>または</b> 葉色39～41	やや過剰	1.0kg/10a	
	茎数650本以上 <b>または</b> 葉色41以上	過剰	葉色の低下を待ち1.0kg/10a <b>または穂肥なし</b>	出穂25日前
雪若丸	茎数560本未済 <b>または</b> 葉色40未済	不足	1.5kg/10a	出穂30日前
	茎数560～750本 <b>または</b> 葉色40～44	適正	1.5kg/10a	
	茎数750本以上 <b>または</b> 葉色44以上	過剰	1.0kg/10a	出穂25日前

・施肥量の過多、散布時期の遅れは食味低下の要因となるため注意しましょう。



「やまがた米づくりナビ」の使用  
方法は普及課まで問合せください



圃場別で  
診断の結果が色別  
で表示



HP へアクセス

## ◎水管理 ～登熟を高めるこまめな管理～

・幼穂形成期から穂揃い期の期間は水分や酸素が稲に最も必要な時期になります。中干しが終了したら**飽水管理**とし、徐々に**間断かん水**に切り替え、土壌を酸化的に保ちつつ根の活力を維持しましょう。低温が予測された場合は深水管理で稲体を保護しましょう。

## ◎病害虫対策 ～カメムシもいもちも要注意！～

・6月後半の調査では**斑点米カメムシ類**の発生時期が早く、発生量が多いです。また、**葉いもち**の発生は確認されていませんが、6/22、6/23に感染好適日に遭遇しています。油断せず、地域で一体となった草刈や薬剤防除で対策しましょう。

山形県農薬危害防止運動実施中！ ～使用基準を確認し適切な使用を～

農作業中の熱中症を予防しましょう ～こまめな休憩と水分補給を～